

84歳



弓岡サイクル 代表
ゆみおか けんじ
弓岡 健二 さん

加古川市加古川町平野398
TEL: 079-422-6379

1940年生まれ この年の出来事

◎伊、英・仏に宣戦布告 ◎サラリーマンの所得税が源泉徴収に ◎日独伊三国同盟調印 ◎「蘇州夜曲」がヒット

元々細かい仕事が好きで、自転車の仕組みを知り修理することが楽しくてこの道に進み1983年に開業しました。これまで、どうしても休まなければいけない時以外、基本的に休みなしで対応してきました。自転車は急を要する修理がほとんどで、調子が悪いまま走っていると事故にも繋がります。また「直って良かった」と笑顔で帰っていくお客様を見ると休んでなどいられないと思ってしまう。家でじっとしているより店に出て動いているほうがいいので、無理しすぎない程度に休みを入れながら営業を続けています。

空いた時間の楽しみは同級生と食事をする事。会える人数も段々減ってきていますが、会えば近況や昔話に花を咲かせています。仕事も遊びも楽しく、というのが健康の秘訣でしょうか。

最近は量販店が進出しその勢いは止めようがありません。しかし、自転車技士の試験を受け、これまでの経験で培った修理技術は量販店には負けないと自負しています。悪い箇所を直すだけでなく、「Aが悪いということは、中でつながっているBにも不具合が出てきているのではないかと、全体の構造を考えたうえで修理することを心掛けています。その結果お客様からも「買ったてのような快適な走りになった」など嬉しいお声をいただけています。家族何代にもわたってご鼻息にさせていただいてるお客様もいて、これからも地域に愛され信頼される店でありたいと思います。長生きをして体が動く限りは店を続けたい、年男はまだまだ“通過点”の一つです。

60歳



(株)わらびもち 代表取締役
たにぐち ゆかり
谷口 由加利 さん

加古川市平岡町一色西2丁目373-3
TEL: 079-498-1679

1964年生まれ この年の出来事

◎東京オリンピック ◎東海道新幹線開通(東京-大阪間、2,480円) ◎海外旅行自由化 ◎カルビーが「かっぱえびせん」を発売

2020年に創業するまでは、総合病院の精神科病棟で看護師をしていました。安定した収入もありましたので、自分でも大きな決断をしたと思います。多くの患者さんが退院していくのを見てきましたが、ある日、入院生活が長かった患者さんが退院して社会に出るのをとても嫌がったんです。それを見た時に、社会に出るお手伝いができないか、看護師として長年培った経験を活かせないかと考え「就労継続支援B型作業所わらびもち」を立ち上げました。ここは障がいを持った方が作業を通して社会性を身につけて自信を持って社会に飛び立てるようお手伝いをする場です。

病院勤めの頃は、規律に基づき仕事をしていましたが、ここは利用者のニーズに沿って自由に企画・運営することができます。利用者個々に違いますので、正解というものはありません。まずは色々なことをやってみて、失敗も経験の一つとしてこの先の運営につなげていくという感じですね。やりすぎて頭を打つこともあります。やっていると本当に楽しいです。事業開始1~2年は自律神経に支障を来すほど心労が重なりましたが、多くの人の助けでここまで来られました。

利用者は、例えば食品のシール貼りや箱折り、封入作業など内職を中心に利用者の状態にあわせて作業しています。軽作業で人手が必要なら是非お問い合わせをいただきたいです。

今年は施設外就労にも挑戦したいと考えています。社会との隔たりを無くし、利用者が自信を持って社会に羽ばたいていけるように、そしてこの作業所から笑顔を生み出し、みんなで笑いあえる毎日を過ごせるように、忙しくても充実した1年にしたいですね。

辰年はどんな年?

2024年は甲辰(きのえたつ)。「甲」は「甲乙丙丁~癸」の一番最初であり、物事の始まり。「辰」は「振(ふるう、ととのう)」に通じ、陽の気で万物が振動し「草木が成長して形が整っていく様子」を表しています。この二つが合わさる甲辰は、新しいことを始めて成功する、いままで準備してきたことが形になるといった、縁起のよい年になるのではといわれています。

「逆鱗に触れる」

竜の姿は「竜に九似あり」といわれるように、角は鹿、頭は駱駝、目は鬼、うなじは蛇、腹はみずち(想像上の動物)、鱗は鯉、爪は鷹、掌は虎、耳は牛に似ており、長い髭をたくわえ、あごの下に1枚だけ逆さに生えた逆鱗(げきりん)があります。竜はこの逆鱗に触れられるのが大嫌いで、触れられると激高し、触れたものを即座に殺すといわれていることが語源となっています。

72歳



税理士法人高橋会計事務所
たかはし はやる
高橋 逸 さん

加古川市平岡町一色西2丁目1
TEL: 079-441-1439

1952年生まれ この年の出来事

◎手塚治虫「鉄腕アトム」、月刊誌「少年」での連載開始 ◎サンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約が発効 ◎白井義男が日本人初のボクシング世界チャンピオンに

一般企業で経理を担当したことをきっかけに、税理士の道へ進み1983年に開業し昨年41年を迎えました。そして今年法人化し、息子が代表となり新たな一歩を踏み出すことになりました。多くのお客様と従業員、家族に支えられてここまでやってこられました。感謝しかありません。この取材依頼で年男だったということに改めて気づき、そんな節目の年に事務所の新スタートが切れるのは、非常に良いタイミングだったと感じています。

公認会計士として監査法人に勤めていた息子ですが、一昨年私が大きな手術をし、事務所をどうしようかと考えていたところ、昨年春「会計士も継続するので、税理士と兼ねて継ぐ」と言ってくれました。この道に進むことも、ましてや事務所を継ぐことなど強制できないかと思っていたので、その申し出(返事)は本当に嬉しかったですね。今後、徐々に出勤を減らし非常勤として勤めていくつもりです。

第一線を退くので、空いた時間に旅行に行きたいですね。元々旅行好きで海外などにも行っていましたので、体力が許される範囲でいろいろな地を巡りたい。健康のために始めたウォーキングを手術後も「歩ける時に歩く」ぐらいの気持ちで無理をせずに続けられたらと思っています。

一昨年は自身の手術、昨年は息子の結婚、事務所の法人化など大きな動きのあった最近です。今年もまだ引継ぎなどで落ち着かない毎日になるとは思いますが、新代表が業務に専念できるようサポートをしながら税理士法人高橋会計事務所の新たなスタートを見守っていきたいと思います。